

2021年4月20日

## 九州から日本を動かす! Move Japan forward from 九州! (125)

リーダーシップが大きなカギであることは企業でも行政でも同じことだと思います。福岡市が一気に変わってきている。あるいは人口3万人位の地方都市が、ユニークな尖がりを作り始めて人々が魅力を感じ、人口が減らないどころか増えてきているという現象がリーダーのビジョンから動き出し、勢いがついているところもあります。そういった自治体は、首長が比較的若くて大きなロマンを持っている点が共通しているような気がします。

少々ストレッチがかかったというか、本当に実現できるかな?という印象を与えながら、市あるいは町が保有している魅力を活かしての尖がりづくりです。私も35年くらい前に飯塚病院を日本一のまごころ病院にすることを目標にしようと発表した際には、ほとんどのスタッフは「このリーダーは何を言っているのだろう?」という受け止め方をする人が多かったと思います。しかし、皆の盛り上がりによるカイゼン活動の効果で、今では達成不可能と思っている人は少し減ってきていると思います。国公立が多い病院の中で民間が負けるとは思えない。宅急便もJRに勝ち、郵便も民間になってサービスは向上している。日本で公が運営して残っている機関は病院と学校のみです。課題が残っている医療分野と教育分野の改革が連動しているのも何やら気になります。

病院経営には、待ち時間の短縮、働き方改革の改善余地の存在、医療事故削減のための改善、損益改善による毎年の国からの補助金額の削減など、改善テーマは多いです。民間ならではの思いやりサービス、まごころ医療などで日本一を目指していきたいです。私は、Not easy but not impossible という少々背伸びはしているが到達可能な目標を設定しています。

この表題の「九州から日本を動かす」というのも、まさにその目標から作っています。九州地域戦略会議のように行政のトップと四つの経済団体が年に二度にわたって、九州の競争力をどう集中させて成果を出していくのかと話し合

いが持たれている地域はおそらく全国どこにもないと思います。こうして産学官で一緒になって磨き、魅力を作るという活動が可能な九州から良いモデルを成功させて、その成功事例が国内の他の地域に連動していく流れを作っていく使命、やりがい、そして責任を感じ、動き、動かしていきたいと思っています。

麻生 泰